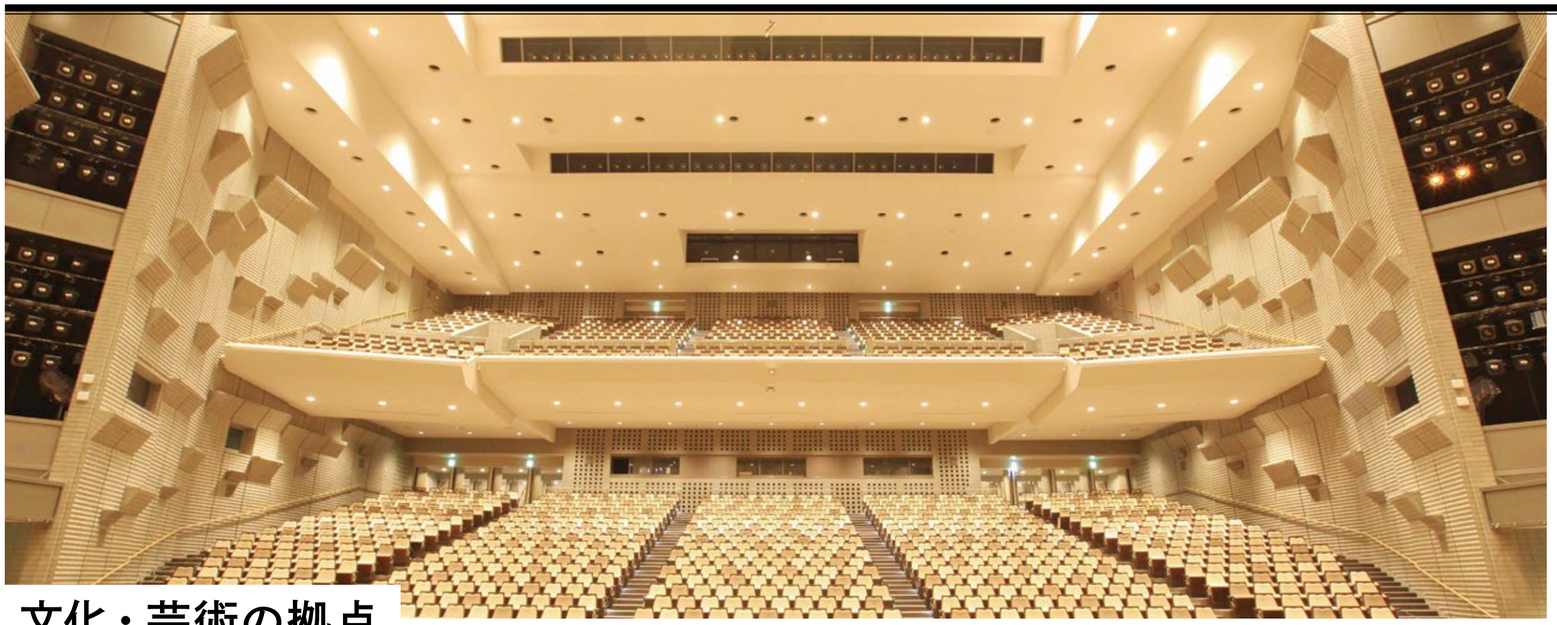


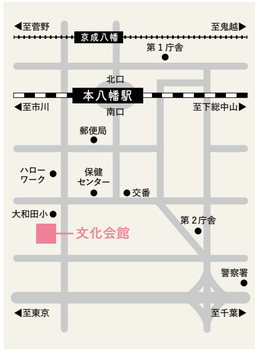
文化・芸術の拠点

文化会館が新しくなりました

昭和60年の開館から30年以上が経過した文化会館。安全でより快適にご利用いただくため、大規模改修が令和2年10月から令和4年3月まで行われました。4月1日から再開した新しい文化会館を今後も市の文化・芸術の拠点として、ご利用ください。

問 ☎318-9731文化施設課

【アクセス】



休館日 毎月第2・4火曜日（祝日の場合は開館）／年末年始
開館時間 午前9時～午後9時30分
場 大和田1-1-5
問 ☎379-5111（公財）市川市文化振興財団

リニューアルのポイント

ホール

ゆったり鑑賞できるように

ホール天井の改修をはじめ、舞台設備や客席のリニューアルを行いました。客席は、大ホール、小ホールともにベージュを基調とした落ち着いた色合いで、座面幅を広げゆったりと鑑賞できるようになりました。

座面の幅が約5cm広がり、ゆったりとした座り心地に

跳ね上げ可能の肘置きで、親子並んでの鑑賞などより安心に

バリアフリー

誰でも利用しやすく

車いすの方や子どもでも、スロープでより快適な移動が可能に

大ホールの地下階から2階席まで移動できるエレベーターを新しく設置しました。大ホール地下1階は、できるだけ段差を解消して移動しやすくなりました。

さらに使いやすくなりました

展示室 天井や壁を中心に改修を行いました。

トイレ 個室の数を増やすとともに、床、壁、扉と全面的に改修を行い新たな装いに。パウダールームも新設しました。

ベビールーム 1階に追加設置。ひよこ色の部屋には、おむつ交換用ベッドや授乳エリアを設けています。

ラウンジ カフェテーブルセットなどを配置し、フリースペースや、休憩室として使えるエリアに。

エントランス

ロゴも新しく

エントランス中央の最も間口の広い箇所を自動ドアにし、施設への出入りがよりスムーズになりました。また、エントランスに掲げられている「市川市文化会館」のロゴも、新しいデザインとなっています。

＼新しいロゴの制作者にききました／

武荒（たけあら） 信顕（のぶあき）さん
市川市在住の彫刻家。各種展覧会で受賞を重ね、野外彫刻設置事業のほかに切手デザインなどでも活躍。

文化会館とは、文化を楽しむ場所であり、文化を発信しつつ育てる所でもあります。市を流れる江戸川の優美な曲線と、「感性の楔（くさび）」を表す、鋭い三角形をデザインに取り入れて表現しました。時代を経ても新しさを保ち続ける、文化会館にふさわしい文字として構成しました。

新しいロゴはこちら **市川市文化会館**

＼知ればもっと楽しくなる／

文化会館のここにも注目

日本美術の巨匠が描いた2つの緞帳（どんちょう）

大ホールの緞帳は、市川を長らく創作の場とした二人の日本美術の巨匠により描かれたものです。どちらも改修工事中にクリーニングを行い、色鮮やかさを取り戻しました。

第1緞帳 東山魁夷「緑の微風」

第2緞帳 佐治賢使「暁に集う」

美術作品を見つけてみよう

文化会館は、屋内外を問わず彫刻など多数の美術作品を展示しています。今回のリニューアルを機に、新たに収蔵した美術作品もあり、館内ロビーなどで紹介し、展示替えなども予定しています。文化会館にたたずみ、彩りを添える作品たちを探してみてください。

リニューアル記念フェスティバル

リニューアルを記念する催しの1つとして、「リニューアル記念フェスティバル」を開催します。一般公募により出演が決定した団体9組による舞台パフォーマンスや、新人演奏家コンクール、即興オーディションの受賞者による特別演奏をリニューアルした大ホールの客席で楽しむことができます。

日 4月3日（日）午後2時（開場は1時間前）～5時
場 文化会館大ホール
¥ 無料
申 不要。直接会場へ。

出演団体
No Dance No Life〈シアターダンス〉、Drops Dance Box〈ダンス〉、Mea Hula O Kamalanai〈フラダンス〉、ピアニッシモ〈女声コーラス〉、橘アンサンブル〈器楽演奏〉、ガンビー魁士〈パントマイム、マジック〉、うららオカリナオーケストラ〈オカリナオーケストラ〉、ファルコンズ カルテット〈サックス四重奏〉、マザーズアンサンブル チェリー〈吹奏楽〉
（出演順）
問 ☎379-5111（公財）市川市文化振興財団

当日は新型コロナウイルス感染症対策のため、入場制限する場合があります。
詳細は市川市文化振興財団Webサイトや同財団発行のイベントガイドを確認してください。また、第1土曜日に発行されるカラー刷りの広報いちかわ11面でも公演案内を掲載しています。